

令和4年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
事業内容報告書の概要

地方公共団体名【 日野町 】							
令和4年度に実施した取組の内容及び成果と課題							
1. 事業の実施体制(運営協議会・連絡協議会の構成員等) 日本語指導講師・学習支援員・住民課(外国人担当)・学校教育課課長補佐							
2. 具体の取組内容 (1)地域の外国人児童生徒等指導体制の推進に係る運営協議会・連絡協議会の設置・運営 ・校内でのポケットークを活用した翻訳 (2)学校における指導体制の構築 ・外国人「生きる力」支援事業 (3)「特別の教育課程」による日本語指導の実施 ・「特別の教育課程」の編成と見直し (4)成果の普及 ・指導実践について共有 (7)ICTを活用した教育・支援 ・自動翻訳機を活用した外国人児童生徒および保護者支援							
3. 成果と課題 (1)地域の外国人児童生徒等指導体制の推進に係る運営協議会・連絡協議会の設置・運営 ●今年度は、校外でのポケットークの使用はなかったが、来年度は校外での使用が見込まれる。 (2)学校における指導体制の構築 ○日本語指導担当講師および学習支援員を配置し、日本語指導および生徒指導、教育相談等を実施することで、外国人児童生徒が学校生活に適応することができた。 ●日野町役場住民課の外国人担当は、他の課における業務と兼務のため、調整を行う必要があったり、十分に学校に対して支援できなかった。また、母語が多岐にわたるため、対応できない母語があった。 (3)「特別の教育課程」による日本語指導の実施 ○外国人児童生徒の一人ひとりのニーズに応じた指導が実現できた。 ●個別の教育支援計画や個別の指導計画をさらに活用して、長い期間での支援を検討していく必要がある。 (4)成果の普及 ○外国人児童生徒に対する理解が深まり、きめ細かい指導につながった。 ●在籍校での指導実践について、共有することができた。今後は、共有した情報から指導・支援に活かしていく必要がある。 (7)ICTを活用した教育・支援 ○自動翻訳機の活用により、児童生徒の学校生活への安心感が増し、意欲向上につながった。保護者との信頼関係の構築につながった。 ●対応すべき対象者が多く、必要な時に自動翻訳機の台数が不足していた。 ●学校内のネット環境が整ったために、通信機(ポケットーク)のSIMの更新をする必要がなかった。							
本事業で対応した幼児・児童 生徒数	幼稚園等	小学校	中学校	義務教育 学校	高等学校	中等教育 学校	特別支援 学校

	(人 園)	25 人 (2校)	8 人 (1校)	(人 校)	(人 校)	(人 校)	(人 校)
うち、特別の教育課程で指導を受けた児童生徒数		3 人 (1校)	1 人 (1校)	(人 校)	(人 校)	(人 校)	(人 校)
4. その他(今後の取組予定等) <ul style="list-style-type: none"> ・次年度の活用に向け、自動翻訳機の整備を行う。 ・個別の指導計画を活用した支援を充実させる。 							